

# 有志舎の新刊です。2013年10月下旬発売

「講座 東アジアの知識人」全5巻の第2回配本です！

## 「講座 東アジアの知識人」第2巻

編集委員：趙景達(千葉大学教授)、原田敬一(佛教大学教授)、村田雄二郎(東京大学教授)、安田常雄(神奈川大学特任教授)

# 近代国家の形成

—日清戦争～韓国併合・辛亥革命—

A5判・ハードカバー・370ページ 本体価格 3,600円

### 第2巻 目次

(章タイトル：執筆者)

#### I 抵抗と革命

孫文：深町英夫  
田中正造：三浦顕一郎  
幸徳秋水と初期社会主義者たち：  
山泉進

朝鮮の義兵将：慎蒼宇  
ファン・ボイ・チャウ：白石昌也

#### II ナショナリズムの思想

徳富蘇峰と陸羯南：有山輝雄  
内村鑑三：谷川穰  
梁啓超：吉澤誠一郎  
朴殷植：康成銀

#### III アジア主義

宮崎滔天：真鍋昌賢  
章炳麟と劉師培：石井剛  
愛国啓蒙運動と張志淵：井上厚史  
玄洋社と黒龍会：初瀬龍平

#### IV 言論と出版

黒岩涙香：原田敬一  
添田唾蟬坊：能川泰治  
申采浩：康成銀  
張元済と商務印書館：川尻文彦

#### V 実業と国家

張謇：陶徳民  
渋沢栄一：見城憐治  
李容翊：三ツ井崇

19世紀末から20世紀初頭、東アジアは大きな転換期を迎えました。東アジア東隅の一国でしかなかった日本が、日清・日露戦争により植民地を獲得して、欧米にならった帝国となり、その日本の膨張に抵抗し続けた朝鮮はついに「併合」されてしまいます。一方、アヘン戦争以来、半植民地の状態に置かれていた清国は辛亥革命により新しい国を創り出してきました。

アジアが、近代国家を形成する地域と植民地になっていく地域とに引き裂かれていく時代のなかで、互いに連鎖していく知識人たちの様々な思想を明らかにする第2巻、刊行です！

### <全5巻の構成>

第3回配本は第3巻で12月刊行予定  
毎月ないし隔月で1点ずつ刊行予定

- ※第1巻 文明と伝統社会 —19世紀中葉～日清戦争—
- 第2巻 近代国家の形成 —日清戦争～韓国併合・辛亥革命—
- 第3巻 「社会」の発見と変容 —韓国併合～満洲事変—
- 第4巻 戦争と向き合っ —満洲事変～日本敗戦—
- 第5巻 さまざまな戦後 —日本敗戦～1950年代—

※印は既刊です。内容見本送呈

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10、宝栄ビル 403 (有)有志舎 電話:03-3511-6085

番線印・ご担当	ご注文数	発行：有志舎	分野
		講座 東アジアの知識人 第2巻 近代国家の形成 趙景達・原田敬一・村田雄二郎・安田常雄 編 本体価格 3,600円 新刊 ISBN978-4-903426-77-8 C1020	歴史学(近現代) 弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は「永滝 了解」として返品下さい。

ご注文は 有志舎 担当：永滝(ナガタキ)まで FAX:03-3511-8484

当社商品の取扱取次はトーハン・JRC・八木書店ですが、日販・大阪屋ほか、いずれの取次でも上記取次経由で送品します。なお、JRCからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この弊社あての注文書だけをご返信いただければ結構です。